

2月5日(日)

『第11回生徒研究成果合同発表会 (TSS)』

「第11回生徒研究成果合同発表会～The11th Toyama Science Symposium～」を東京都立戸山高等学校で開催しました（共催 工学院大学）。今年度はコロナ感染が落ち着いてきているので、対面での発表を中心として行い、口頭発表の一部でオンライン参加や見学ができる形としました。他校からの参加も多数あり、大いに刺激になりました。すべてのポスター発表と口頭発表に対して、専門家からの助言指導が受けられ、英語でポスター発表を行える機会を作ることが出来ました。

基調講演では、認知情報学の専門家の工学院大学副学長 蒲池みゆき先生に人のコミュニケーション活動における情報処理機能について分かりやすくお話して頂きました。講演では顔の写真や図を実際に示しながら人が他者とコミュニケーションするときには、相手の顔や動作などを手がかりに、相手の感情や発話内容などを瞬時に処理して理解していることを教えてくれました。研究を進めていくには様々な知識や考え方があとで役に立つので幅広く学ぶことがいと高校生に話しかけてくれました。

ポスター発表が12会場、口頭発表が8会場（4会場がオンラインでそのうち2会場は英語のみ）で行われました。発表時間が被らずに設定できたため、口頭発表会場も満杯になっていました。



開会式 高野校長挨拶



基調講演 蒲池みゆき副学長



ポスター発表セッション



口頭発表（対面）

他校の参加者、見学者が先生、生徒を合わせて167名、講師や保護者その他関係者も含めると来場者の合計人数は351名となりました。戸山高校の生徒達も他校の生徒や講師とたくさんコミュニケーションが取れ、質問やアドバイスもいただきました。このような経験は非常に有意義なものとなりました。